2020年度事業所向け放課後等デイサービス自己評価表集計

			みらい	きぼう	みらい	きぼう	みらい	きぼう	みらい	きぼう		
		チェック項目	はい		どちらともいえない		いいえ		無回答		改善目標、工夫している点など	改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	3	2	2		1				
	②	職員の配置数は適切であるか	5	5	3	1					・外出活動の際に、大人の人数が少ないと感じる場面がある	・ボランティアにも協力してもらい、活動に制限がないようにしていく
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			5	1	3	5			・段差がある ・トイレに段差があるが、現状介助が必要な利用者はいない	・借りている建物でもあるため、可能な範囲で改善するを図る
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	4	1	1		1				・職員ミーティングを増やして、共通理解を図る
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	5	1	1						
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	6	1							
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	4	1	2	4			・第三者ではないが、同団体法人からアドバイスを受けることがある	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	6								
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	6							・できていると思うが、もっと話し合う機会が設けられたら、より良い計画が立てられるのではないかと思う	・職員間の話し合いの時間を確保し、よりよい計画を作成していく
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	5	1	1	2				・保護者から提供を受けたものを共有しています	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	5		1		1				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	5	2	1		1			・固定化しているところもあった為、新しく楽しめるプログラムを立案していきたい	・固定化しないように、担当を定期的に交換しながらプログラム立案を行う
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	4	1	2						・事業所の願いや活動の目的を再確認し、設定を行っていく
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	5	2	2						

			みらい	きぼう	みらい	きぼう	みらい	きぼう	みらい	きぼう		
		チェック項目	はい		どちらともいえない		いいえ		無回答		改善目標、工夫している点など	改善目標
適切な支援の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	4	5	2					・出来ていない日もある	・メンバーの参加に合わせて、毎日実施できるようにする
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	4	3	1				・送迎終了時間、退勤時間が異なるため難しい ・次の日になることがあったり、全員で行えないものの、その日にあったことの振り返りや共有はできていると思う	・口頭での共有のみでなく、メールや記録を活用し共有を図っていく
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	5	2	1					・その日に記録を残せていない事もあるため、なるべくその日のうちに記録を残しておくようにしたい	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	5		1					・定期的な開催が難しいことがある	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6	5	2	1						
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	5	1	1						
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	4	1	2					・学校と直接連絡をとるべきか悩むことがある	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1	3	2	2	3			・対象のお子さんがいません ・受け入れていません	・医療的ケアが必要な利用者がいません
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	4	3		1				・必要に応じて実施していく
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	3	3	2		1				
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	4	2	1		1				
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	2	2	2	1				・放課後児童健全育成事業を併設しているため、計画的に合同活動を行いたい。「西公園へ遊びに行こう！」「ドッチボール大会をしよう！」「宝探しをしよう！」などを企画検討していく
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	3	2	2	2	1			

			みらい	きぼう	みらい	きぼう	みらい	きぼう	みらい	きぼう		
		チェック項目	はい		どちらともいえない		いいえ		無回答		改善目標、工夫している点など	改善目標
関係機関や保護者との連携	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	6								
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	4	4	1			1		・親子プログラムで実施できるか検討していく
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	6	1						・自分自身がもっと理解を深めて、自信を持って説明できるようにしたい	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	6								
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	4		1		1				・年２回の親子プログラムを継続していく
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	6								
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	6								
	㉟	個人情報に十分注意しているか	8	4		2						
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	8	6								
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	4	1	1	2	1				・新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は難しかったが、仙台ＹＭＣＡ全体として行事への参加案内を続けていく
非常時の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	5	1			1				・ホームページにアップし保護者が閲覧しやすいようにしていく
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	6								
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	5	1	1						・虐待防止研修を継続していく
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	5		1						
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	3	4	2	2	2		1		・保護者からの原簿を元に配慮してます ・保護者からの申し出で対応しています	
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	5		1						